

第65回

日本伝統工芸展

THE 65th JAPAN TRADITIONAL *Kōgei* EXHIBITION

国内最大級の公募展

9月19日[水]~10月1日[月] 日本橋三越本店 本館・新館7階催物会場

入場無料

午前10時~午後7時 ※最終日は、午後6時閉場

主催:文化庁、東京都教育委員会、NHK、朝日新聞社、(公社)日本工芸会

協賛:(公財)アサヒグループ芸術文化財団、(公財)岡田茂吉美術文化財団、(公財)五島美術館、パナソニック株式会社、(公財)ポーラ伝統文化振興財団

協力:マツダ株式会社、株式会社オーブンドア、(一社)Eまちラボ



新しい日本橋の、三越本店へ。

MITSUKOSHI

日本橋本店

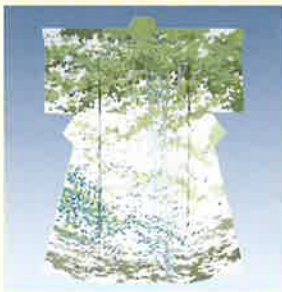
www.mitsukoshi.co.jp



日本工芸会奨励賞

そめつけんぎよばち
陶芸=染付金魚鉢
小枝真人

CERAMICS=Bowl with goldfish design
in underglaze blue.
SAEDA Makoto



日本工芸会奨励賞

ゆうぜんほうもんぎ「あめあがり」
染織=友禅訪問着「雨上がり」
菅原高幸

TEXTILES=Formal kimono with design
in yūzen dyeing. "After the rain"
SUGAWARA Takayuki



日本工芸会奨励賞

ろうがたちゅうどうかき「はやせ」
金工=蠟型鑄銅花器「早瀬」
高橋阿子

METALWORK=Bronze flower vessel cast
in cire perdue method. "Rapids"
TAKAHASHI Ako



日本工芸会奨励賞

もくしんとうそごふん「うんきん」
人形=木芯桐壺胡粉「雲錦」
藤田美智子

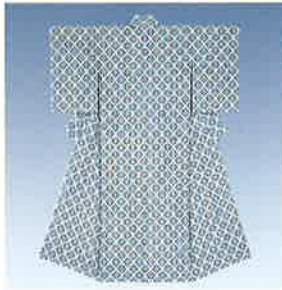
DOLLS="Cherry blossom and red maple
leaf design" Formed with tōso over
wooden core and covered with whitewash.
FUJITA Michiko



日本工芸会奨励賞

ゆうせんしつぼうかびん「やくどう」
諸工芸=有線七宝花瓶「躍動」
池田貴普

VARIOUS WORK=Cloisonné flower vase.
"Dynamic movement"
IKEDA Takayuki



日本工芸会新人賞

つむぎおりきもの「きりこ」
染織=紬織着物「切り」
平恵子

TEXTILES=Kimono of tsumugi.
"Cut glass pattern"
TAIRA Keiko



日本工芸会新人賞

ろうがたふきわけはち
金工=蠟型吹分鉢
山崎誠一

METALWORK=Bowl cast in cire perdue
method in two different metals.
YAMAZAKI Seiichi



日本工芸会新人賞

あわせくしめはなご「しょうふうしぐれ」
木竹工=合わせ櫛目花籃「祥風時雨」
久富夢庵

WOODWORK & BAMBOOWORK=Flower
basket in awase-kushime weave.
"Auspicious wind and rain"
HISATOMI Muan

ギャラリートーク テーマ:「生活の中の工芸品」

【本館・新館7階会場にて各日午後0時30分～】

- 9月19日[水] 陶芸=福島善三氏(重要無形文化財保持者)
- 9月21日[金] 染織=土屋順紀氏(重要無形文化財保持者)
- 9月24日[月・振休] 漆芸=金子賢治氏(茨城県陶芸美術館長)
- 9月25日[火] 金工=原田一敏氏(ふくやま美術館長)
- 9月26日[水] 木竹工=諸山正則氏(工芸史家)
- 9月27日[木] 人形=今井陽子氏(東京国立近代美術館 主任研究員)
- 9月28日[金] 諸工芸=白幡明氏(硝子作家)

本年度受賞者作品解説【会場内にて各日午後0時30分～】

- 9月22日[土] 漆芸=しんたにひとみ氏(高松宮記念賞)
- 染織=小倉淳史氏(文部科学大臣賞)
- 漆芸=金城一國斎氏(朝日新聞社賞)
- 陶芸=森田由利子氏(日本工芸会会長賞)
- 諸工芸=池田貴普氏(日本工芸会奨励賞)
- 9月23日[日・祝] 金工=前田宏智氏(日本工芸会総裁賞)
- 木竹工=渡辺晃男氏(東京都知事賞)
- 染織=楠光代氏(NHK会長賞)

我が国には、世界に卓絶する工芸の伝統があります。伝統は、生きて流れているもので、永遠にかわらない本質をもちながら、一瞬もとどまることのないのが本来の姿であります。伝統工芸は、単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではありません。伝統こそ工芸の基礎になるもので、これをしっかりと把握し、父祖から受けついで優れた技術を一層錬磨するとともに、今日の生活に即した新しいものを築き上げることが、我々に課せられた責務であると信じます。昭和25年、文化財保護法が

Japan has one of the world's greatest traditions of craftsmanship. Tradition is alive; while maintaining the intrinsic qualities, it undergoes an unceasing evolution. Traditional Art Crafts are not mere copies of previous works made faithfully following the existing techniques. Tradition is the basis of art craft, and it is our duty to learn it well, further refine the excellent skill which has been handed down through many generations, and create new works suitable to the modern living. In 1950, the Law for the Protection of Cultural Properties came into being, and since then the Japanese government has been protecting

施行され、歴史上、若しくは芸術上特に価値の高い工芸技術を、国として保護育成することになりました。私どもは、その趣旨にそって、昭和29年以来陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門にわたり、各作家の作品を厳正鑑査し、入選作品によって日本伝統工芸展を開催してきました。このたび、第65回展(平成30年度)を開催し、広く人々の御清鑑を仰ぎ、我が国工芸技術の健全な発展に寄与しようとするものであります。

craft techniques of particularly high historical and/or artistic value. In accordance with this policy, the Japan Traditional Kogei Exhibition has been held annually since 1954. The exhibits, classified into 7 categories of ceramics, textiles, urushi work, metalwork, woodwork and bamboowork, dolls, and various work, are selected through rigorous examination from the works submitted by many artists. We are pleased to present the 65th Exhibition (for the year 2018) in the hope that it will be enjoyed by many people and make contribution to the progress of art craft techniques of Japan.

同時開催 特別展示 —わざを伝える— 文化財保存事業報告 金工=「鍛金」田口壽恒氏(重要無形文化財保持者)

※三越伊勢丹グループは日本伝統工芸展の開催を通じた芸術振興を、CSRの重点取組としています。

日本橋三越本店 本館6階 美術フロアのご案内



中村信喬 個展 TIME TRAVELER

9月19日(水)～24日(月・振休)
※最終日は午後5時閉場
本館6階 美術特選画廊

右記のコードでデジタルカタログをご覧いただけます。▶

「TIME TRAVELER」高さ47cm……………3,240,000円

入場
無料



伝統工芸陶葉会展

9月26日(水)～10月2日(火)

※最終日は午後5時閉場

本館6階 アートスクエア

入場
無料

神谷紀雄「鉄絵銅彩葡萄文陶壺」径26.5×高さ13cm…756,000円